



ひらくしでんちゅう びじゅつかん  
平櫛田中のここにしかない美術館

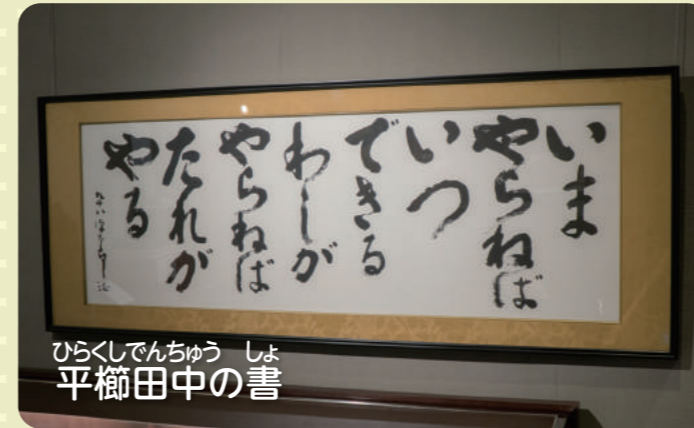
でんちゅうびじゅつかん いばらしゅっしん ちょうこくか ひらくしでんちゅう のこ さくひん ほぞん てんじ おお ひと み  
田中美術館は井原出身で彫刻家の平櫛田中が残した作品の保存と展示をし、多くの人たちに見てもらう  
ために昭和44年、1969年11月3日の文化の日に「田中館」として開館しました。後に「田中美術館」に改め  
られます。約1000点を展示・収蔵していますが、田中が生前に小学校・中学校・高校へ寄贈していた作品が  
主になっています。その中には田中が描いた書「いまやらねばいつできる、わしがやらねばたれがやる」や  
ころりゅう げいじゅつか さくひん し そんけい おかからんしん さくひん でんちゅう ひと かれ  
交流していた芸術家の作品、師と尊敬していた岡倉天心をモデルにした作品など、田中の人となりや彼の  
にんげんかんけい し でんちゅう ちょうこくか い たど  
人間関係も知ることができ、田中の彫刻家としてどのように生きたのかを迎えることができます。

### ◆ しせつ 施設のおすすめ

ひらくしでんちゅう ぞうげちようこく おお じだい き ちょうこく もくちよう ちから い さい いっしよう か ぎじゅつ  
平櫛田中は象牙彫刻の多かった時代に木の彫刻、木彫に力を入れ107歳の一生を懸けてその技術や  
ひょうげん ついきゅう ひと かれ さくひん おお てんじ せいやぎじゅつ ほしと ほう  
表現などを追及していった人です。彼の作品を多く展示しているので西洋技術である「星取り法」を  
つか あと せいさくかてい まぢか み だひようさく かがみじし しさく とうかん かい てんじ  
使った跡などの制作過程を間近で見ることができ、代表作の鏡獅子の試作が当館の3階に展示されて  
います。同じ3階には、たくさんの作品を作り出した東京上野桜木町にあるアトリエを再現しています、  
でんちゅう ばしよ つく かん  
田中がどんな場所で作っていたのかを感じることもできます。

### ◆ こどもたちへのメッセージ

でんちゅう どころがく ちょうこく まな さい ねんぶん もくざい ころりゅう ちからづよ せいさくいよくあふ ひと  
田中は独学で彫刻を学び、100歳のときに30年分の木材を購入するほど力強く、制作意欲溢れる人でした。  
さくひん とお かん ちょうこく かいが とうげい びじゅつ きようみ も  
その作品を通して感じたことをきっかけに、彫刻だけでなく絵画や陶芸などの美術に興味を持ってほしいと  
おも きようみ も ころりゅう いた うつく かんどう ころりゅう はぐく  
思っています。そして興味を持つことで心の豊かさや美しいものに感動する心なども育ててほしいです。



ひらくしでんちゅう しょ  
平櫛田中の書



かいせつ ようす  
解説の様子



ようじ いぬはり こ  
幼児狗張子



かがみし し さくたち  
鏡獅子の試作達



おかからんしんぞう  
岡倉天心像



さいげん  
再現されたアトリエ



かいてんじしつ  
3階展示室